

美しい水環境を次世代へ

整備進む公共下水道、利用可能区域が一八六ヘクタールに拡大

「美しい水環境を次世代へ」のスローガンを掲げ、葉山町の公共下水道事業がスタートして十三年。工事は着々と進み、現在までに町内一八六ヘクタールの地域で下水道が使えるようになりました。また、これらの処理区域ではすでに約七割の町民の皆さんが排水設備を設置して、公共下水道を利用しています。

家庭から流れる雑排水などによる河川や海の汚れを防ぎ、豊かで美しい水環境を守るうえで、公共下水道はなくてはならないものです。町では今後もしばらく、未処理区域での公共下水道整備を推進していきます。

葉山町の公共下水道事業は、家庭から雑排水が流れ込む側溝、水路、河川や海の水質汚濁の防止と住民の公衆衛生の向上などを目的に、国庫補助事業として平成三年度からスタートしました。

〔事業概要〕

町の全体計画では、山林などを除き、町域の三六％に相当する六二二ヘクタールを公共下水道の整備エリアとして設定。対象となる計画処理人口は約三万二千人で、平成三二年度の完成を目途に、事業の推進を図っています。

また第一期計画として、平成三年度に、全体の整備範囲のうち市街化区域に当たる五一ヘクタールについて都市計画決定がされましたが、その後の線引きの見直しによる市街化区域の

増大に伴い、現在は五一三ヘクタールに変更になっています。

さらに、このうちの九二ヘクタールについて、県の事業認可を得て、平成四年度から工事がスタート。事業認可の範囲はその後順次拡大し、現在は三〇〇ヘクタールと、当初の三倍強になっています。

〔事業の進捗状況〕

平成三年度から始まった公共下水道事業は、木古庭長柄幹線の建設において国道や県道の交通障害などが少なくて済むシールド工法を採用した結果、着々と進み、平成十年度末には約九五ヘクタールの地域で工事が完了。その後も工事は順調で、公共下水道の利用が可能な処理区域は平成十五年度末現



在で、長柄や堀内、一色地区の一部など、全体で一八六ヘクタールにまで拡大しています。

これにより、町の公共下水道の人口普及率は三〇％を超え、大切な水資源を守るための環境改善が着実に前進しています。

〔葉山中継ポンプ場と葉山浄化センター〕

公共下水道の中でも、重要な役割を果たしているのが、真名瀬漁港のそばにある「葉山中継ポンプ場」と山間部の南郷上ノ山地区に新設された終末処理場の「葉山浄化センター」です。



葉山中継ポンプ場は、平成十一年に完成。トイレやふろ場、台所など家庭から出る雑排水をはじめ、町内の汚水のほとんどは下水道管を通じて、いったんこのポンプ場に集められます。ポンプ場は低地であるため、ここで汚水に圧力を加えたうえで、さらに約四・七キロ離れた浄化センターへ送り、そこで処理される仕組みになっています。

また、ポンプ場は複合施設になっていて、二階部分は児童館として利用されています。一方、同じ年に新設された葉山浄化センターは、全国的にも珍しいトンネル方式の処理場です。処理施設の大半を地下に収容し、景観に配慮した点も大きな特徴の一つです。一日あたりの汚水の処理能力は、現在最大で六、二〇〇立方メートル。浄



木古庭長柄幹線管渠ミニシールドマシン

化センターに集められた汚水は、段階的に浄化され、最後は消毒のうえ、森戸川支流の大南郷川に放流されています。

公共下水道が整備されて処理区域になると、そこに住んでいる皆さんには、くみ取りトイレの水洗化や家庭の雑排水を公共下水道へ流すための「排水設備」設置の義務が生じ、下水道利用への速やかな切り替えが必要になります。

また、排水設備の設置工事は町に登録した「指定工事店」以外ではできないことになっており、費用はすべて個人負担です。

そこで、経済的な負担を少しでも軽減して下水道利用の促進を図るため、



エアレーションタンク（上部）

町では独自の助成金制度を設ける一方、排水設備工事資金の借り入れができるよう金融機関に融資のあっ旋を行い、さらに利子の補給もしています。例えば町の助成金制度では、排水設備工事一件につき、三万円を上限に工事費の一〇％に相当する額を補助（ただし、処理区域になって三年以内の工事であることなどの諸条件があり、新築などに伴う工事は対象外）します。また、融資あっ旋の場合（助成金制度と同様の条件あり）は、くみ取りトイレを水洗化して、公共下水道に接続する工事が六〇万円、浄化槽の機能を停止して、公共下水道に接続する工事なら五〇万円まで借り入れることができ、利子は全額町が負担します。公共下水道が使える処理区域内にお住まいで、まだ下水道を利用されていない町民の皆さんには、ぜひこれらの制度を活用して、一日も早く公共下水道へ切り替えるようお願いいたします。

〔トピックス〕

●マンホールの鉄蓋にデザイン

皆さんは町の公共下水道のマンホールの蓋をご存知ですか？ただの鉄蓋では殺風景なため、一般から広くデザインを公募し、四四二点の応募作の中から最優秀に選ばれた作品をベースに、町が作ったオリジナルのデザイン蓋です。

蓋の中央に、波に揺れるヨットを描き、その回りに町の花ツツジや町の木クロマツ、町の鳥ウグイスをあしらひ、見る人の目を楽しませてください。

時には足元に注意して、ぜひデザイン蓋をご覧になってください。



汚泥脱水機

●汚泥をコンポスト化、園芸肥料に

葉山浄化センターで汚水を処理すると、最後に脱水汚泥が残ります。町ではこれをコンポスト（肥料）に加工し、資源の有効利用を図っています。

町では毎年九月十日の「下水道の日」の前後に、脱水汚泥から作ったコンポストの一部を園芸用肥料として、町民の皆さんに無料で配布しています。

今年も九月九日に、役場の正面玄関前で無料配布を行いました。大変な人気で、用意した四トンの肥料は全てなくなりました。



町公共下水道のデザイン鉄蓋



下水道を正しく
使用していただく
ために

- ・台所では、食用廃油等の油脂類、調理くず、残飯などを流すと管が詰まったり悪臭の原因となるので流さないようにしましょう。
- ・トイレでは、水洗トイレにトイレットペーパー以外の水に溶けない紙や紙おむつ、タバコ、ガムなどを流さないようにしましょう。
- ・洗濯、ふろ、洗面所では、リンを含む

まない洗剤を使いましょう。毛髪などは管を詰まらせる原因となるので、目ざらい等を用いて、管に入らないようにしましょう。
・ガソリン、シンナー、石油等は爆発する危険性がありますので流さないようにしましょう。

問合せ 下水道課

☎内線三六一〜三六四



放流口

